

MAGAZINE FOR FRENCH BULLDOG LOVERS

BUHI

ブヒ
Vol. 10
DAK MOOK 275

ありがとう
祝 10号!

人生で
フレンチブルドッグに
出会えた
強運なあなたへ

大特集

家族になる

必読 フレンチブルドッグと暮らす方法

ブヒオーナーそれぞれの気持ちと、それぞれの工夫ノート

こんにちは!
うちのコ自慢
みんなの愛ブヒ勢揃い!
Spring



犬との関係作り

「しつけ」と「トレーニング」

「しつけ」と「トレーニング」は違うといえます。

しつけとは、人間と一緒に暮らしてゆく上での社会生活のマナーやルールを犬に教え、家庭や公共の場で安全に人と犬が共存し、他人に迷惑をかけないようにすること。

トレーニングとは、もちろん「しつけ」や「ルール」を教える際に、訓練(トレーニング)をするという意味の使われ方もありますが、しつけ以外の部分、たとえばドッグスポーツや競技会、ゲーム大会への参加等のための「トレーニング」という意味でも使われていると思います。

「競技やドッグスポーツなんて興味無いし、しつけだけ出来れば」

「吠えるし、家でも悪戯ばかりだから、それだけ直ればいいわ」

よく聞かれる声ですが、しつけを教えるべく段階で、「やってはいけないこと」という禁止事項を犬に与えるだけでは必ず何処かに負担がかかります。こっちの蓋を閉めればあっちの蓋が開く状態です。

必ず「はけ口」を作つてあげないと、

いつか今度は別のところに問題が出てきます。

そもそも犬達は、人間と一緒に何か作業(仕事)をこなし、一緒に生活してきた歴史があります。飼い主を困らせようと嫌がらせをするほど、複雑な思考回路で悪戯をしているわけでもなく、もちろん悪意なんて全くありません。単純に、退屈だから何か楽しくて熱中する遊び(仕事)がしたいだけなのです。

現在家庭犬として、特に家の中の留守番生活を強いられている彼らは、まさに失業している状態で、自分に与えられた仕事がないためにチヤイムに吠えたり、いわゆる困った行動を、まるで自分に与えられた仕事のようにこなすのです。

特に、吠えや破壊行動等困った行動を繰り返す犬達は、エネルギー豊富なタイプや意欲の強いタイプが少なくありません。

しかし、「はけ口」を作るといっても、なかなかクリエティブに遊びを考えることが好きではない飼い主さんだと、途端に犬達は退屈になってしまい、自分で遊び(悪戯)を考案してしまいます。

そんな時に、犬と一緒に参加出来るゲームだったり競技だったり、既に

あるゲームを利用して犬と遊ぶ(トレーニング)時間を作ることはとても有効でしょう。

目標があると、「ただ単にしつける」よりは俄然飼い主のモチベーションもあがります。ドッグスポーツ競技やゲーム大会のトレーニングをするだけで、毎日数分でも目的を持って犬に接することが出来ます。犬達にとっても、自分に明確に与えられた仕事がある。職が見つかったのです!

そして、競技や、犬と一緒にゲーム大会等に参加している犬達の中には、他の犬や人に吠える等の行動があり、過去に「しつけ」の部分で悩んでいた飼い主さんも少なくありません。

一般的な、「吠えてはいけません。吠えやんだらイイことあるよ」の理論で教えるというよりも、実は、競技やゲーム大会に向けて飼い主さんと犬が練習していく過程で、他の犬や人に吠えてしまうという行動が直つてゆくことがかなりの確率であるのです。

一体どうしてなのでしょう?

それは、練習の過程で犬が飼い主に集中する習慣がつくこと。そして、飼い主が犬のアテンションをコントロール出来るようになるからなのです。だから、吠える対象の物が近づい

ても容易に犬のアテンションをひける。吠えたい対象から気をそらさせることが簡単になる。犬も「飼い主と一緒に仕事に集中」出来るから「他の犬や人に吠えるという仕事」に夢中にならなくても良いのです。

最近ではドッグスポーツも色々な種目が増え、特定大種しか活躍できないような競技ばかりではなくなりました。走ることにボールが大好きなら、小型犬でも楽しめるフライボール(アメリカではアジリティーに次ぐ人気のドッグスポーツ)。飼い主が犬と一緒に大好きな曲で得意のトリック(芸)や基本的な行動(お座りやヒール、伏せ、待て)を組み合わせて、ダンスにして踊るドッグダンス。犬達の自慢の「臭覚」を使って遊べるゲームなど。犬種問わず参加出来る、犬と一緒に遊べるゲーム大会等が各地で開催されています。

ご家族や近所の犬友達と、行楽も兼ねてゲーム大会に参加してみるのがおすすめです。

「犬のしつけ」も、ゲームを通して楽しみながら教えた方が気が楽になるし、長く続けられるでしょう。

そうだとそうだとトレーナーのなごさんに聞いてみよう



川野 湯子

アメリカ、カリフォルニア州にてドッグトレーナーのライセンスを取得。フランス人とアメリカ人訓練士のもとで、軍用犬、警察犬の服従訓練や、問題犬の矯正を学ぶ。現在、カワノe-ドッグの専属ドッグトレーナー。

★株式会社カワノe-ドッグ

☎03-3630-6725 Fax 020-4623-6423 <http://www.k-e-dog.com/>

犬の権利が認められるには、飼い主が犬に対して義務を果たす。それが「しつけ」だという「しつけ先進国」フランス流の考え方。カフェでくつろぐ主と足元でゆったりと過ごす愛犬との心地よい距離感。そんな犬文化ごと輸入したドッグ・トレーニング・スクールです。



何が起きていても動じない強さと優しさ

フレンチブルドッグのしつけQ&A

フレンチブルドッグの愛くるしいルックスに、憧れを抱いていた私たち。

念願かなって我が家へ迎え入れたのに、アララ？ なんてこんなにやんちゃなの!?
本には「おっとりしていて飼いやすい」って載ってたのに…。

意外に難しいブヒのしつけ。それにはブヒならではの「コツ」があるんです！

おなじみ経験豊かなカワノeドッグの川野梯子さんに、その「コツ」を聞いてみました！

取材・文◎山崎永美子

※写真と本文は関係ありません

Q 「飼いやすい」って聞いたのに、全然ウソ！ 毎日がパニックです。どういう心構えで向き合ったら良いのでしょうか？

フレンチブルドッグはその愛くるしいルックスから入る飼い主さんが多く、「飼いやすい」という風書いている本も多いですから、実際に飼ってみて想定外のやんちゃぶりに手に負えなくなる飼い主さんがとても多いんですね。でも私は、「ただ可愛いだけでは、もったいない!」と思っています。だって、今はなかなかしつけが入らないブヒだとしても、1頭1頭に素晴らしい能力があるんですから！ その能力を最大限に引き出してあげたいと思いませんか？ それには、しつけのコツと、飼い主さんの日々の努力があってこそ。一緒に頑張っていきましょう！

まず、可愛い顔したブヒですが、甘く見てはいけません。私の経験上、どの子もかなりしつけるのが大変です。そもそも、「人が大好き!」というブヒは少ないのかなって実感です。それと集中力が持続しない。そんな特徴があるんだと思います。だから、なかなかしつけが入りにくい。それでも、やり方はあります。最初は難しいと思いますので、まずはトレーナーに相談をしてみるのも良いかもしれませんね。

Q 突然興奮しだしたり、吠えだしたり、猛突進したり…。この子のそんな突発的な行動が読めずに困っています。

フレンチブルドッグの場合は顔にシワが多くて、尻尾も短いので意思表示が見えにくいのですが、実はかすかながらもシグナルを出しているんですよ。そもそもしつけというのは、コマンドをきかせたりする技術ではなく、犬を知ることが大前提。よく愛ブヒを観察して、意思表示のシグナルを見つけてあげることがとても大切なんです。

よく見てください。目の下に隆起線が浮き出て、口がピクッとしてからケンカに突入していませんか？ 小さな尻尾がかすかに動いてから、どんな行動に出ていますか？ よく観察すれば、彼らの気持ちが見えてきます！



model by Punba

Q 多頭飼いをしているのですが、ブヒ同士が仲良くしてくれません。しつけでどうにかかりますか？

そもそも犬世界では上に立とうとする本能的な部分がありますので、その犬たちが仲良くなると期待することは難しいでしょう。2頭目以降を迎え入れる場合は、「相性が良ければラッキー」というくらいの心構えでいることが飼い主さんにとって大切なことです。そうでなければ、実際に迎え入れてから、いざ仲が悪かった場合に「仲良くしなさい!」と強制する気持ちが生じますからね。それが犬にとっては負担。彼らは利己的ですから、「なんで仲良くしなきゃなんないの?」とまた反抗してくるわけです。

だから、仲良くさせようと無理やり遊ばせたりするのはいけません。実際に流血するほどケンカをする例も多くあります。飼い主さんの気持ちも分かりますが、相性の悪い場合は、それぞれの環境を分けることが必要でしょう。それが犬にとっても安心できることなんです。

いずれにせよ、多頭飼いの場合は特に「飼い主さんが絶対の存在である」という環境をつくらないと、秩序が保たれなくなります。先住犬と新しく迎え入れた犬との優先順位の付け方も諸説ありますが、「飼い主さんが飛び抜けて一番の力を持つ」という環境のもと、「犬は平等に扱う」というのが良いのだと思っています。つまり「絶対の存在の飼い主さんに対する、そのときどきの従順さ」で判断するのが私がオススメする方法です。

Q 一生懸命しつけをしているつもりなのですが、なかなか言うことを聞いてくれません! 私のやり方が間違っているのでしょうか?

まず、フレンチブルドッグと生活する上で、甘やかしすぎるのは禁物です。ベタベタとした関係もしつけには良くないと思います。わたしの経験上、「人間と犬との間に境界線を引きながら共存する」のが、しつけをさせる上での大前提なんだと思います。人間の生活を乱されないようにしながら生活しているご家庭の犬は、ともしつけが行き届いているように感じますのでね。

とくにブヒの場合は、かなりマイペース。それに何度叱ってもめげない性格だと思うんです。トレーニングを見ていると、叱られてへこむ子は見たことがないくらい(笑)。つまり、人間が一生懸命に追いかけてしつけをしようとしても、なかなか難しい。人間の影響が及びづらいんですよね。無理やりこっちを向けさせようと思っても、それが逆効果になったりします。人間が追いかけてしまわす分、ブヒは「絶対に振り向くもんか!」とムキになってしまうんです。深追いはあまり良くないわけね。このへんは、人間の感情と似ている部分かと(笑)。気になってつつい追いかけてしまうけれど、そこをグッと我慢して、「勝手にすれば」というくらいの余裕のスタンスで接することが大切です。そもそもブヒは大らかな性格ですから、飼い主さんもあまり神経質にならなくて良いと思いますよ。

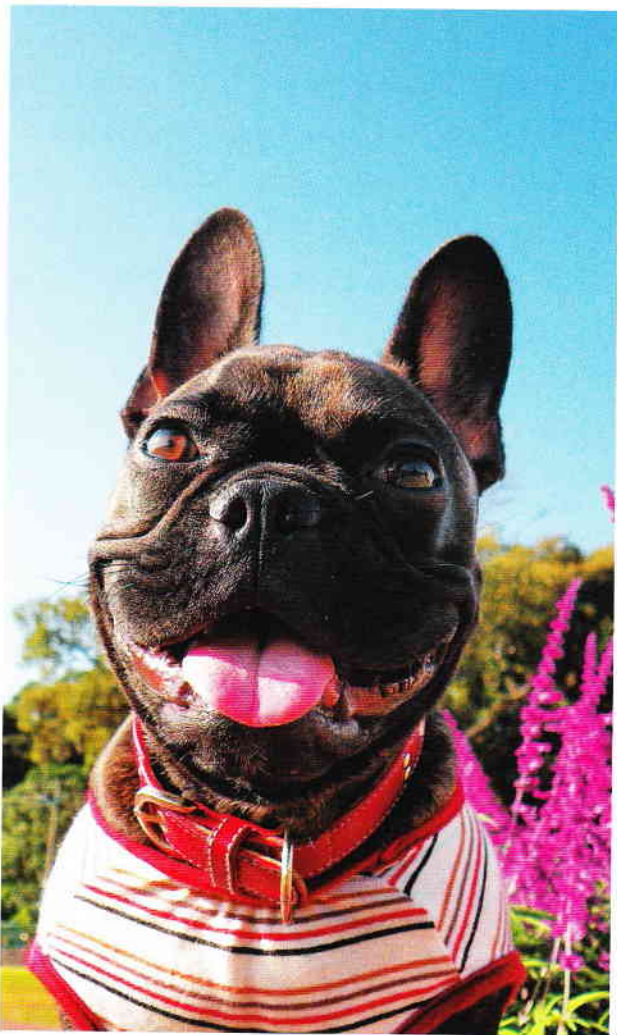
model by Rody



Q 誘惑いっぱいのおとなしく良い子にして
たからほめたのに、私の声に大興奮。せっかく
のしつけも台無しな気がします…。

高い声で「ワーッ！ いい子だね！」ってほめてはい
ませんか？ フレンチブルドッグはすぐに盛り上がる
タイプですからね（笑）。飼い主さんの声で、一気に
興奮してしまうんだと思います。

ほめるときは「高い声で楽しそうにほめる」のが基
本です。それは犬に飼い主さんの意思を伝えるため
です。でも、それにもタイミングがあります。せっか
くおとなしくしていられたのですから、そのときは犬
の気持ちを高ぶらせないように、静かに「よし」とほ
めてあげるなど、調節することが大切ですね。



model by Kotarou

Q 正直、どう叱っていいか分かりません。叱りた
いことは山のようにあるのに…。その場合は叩
いてもいいのでしょうか？

フレンチブルドッグの場合、なかなか飼い主さんの
手に負えないことが多く、ついつい叱り続けてしまう
こともあるようです。ですが、叱ってばかりでは、良
い関係は築けませんよね。かといって、ほめてばかり
で良いのかといえば、それもどうなのかな？という思
いがあります。実際「ほめるだけ」というしつけ方法
もあり、否定はしませんが、するどい犬歯を持つ動物
を、ほめるだけで安全に飼うことができるのかには疑
問があります。どんなに優秀な犬でも、何が起るか
分からないのです。私はそういった意味、どの犬も
100%は信用しませんし、叱ることを知らないといけ
ないと思っています。

ですから、「叱る」と「ほめる」のバランスは「1:9」
くらいが良いんじゃないでしょうかね。なるべく良い
ところを探してほめる！ それがその子を良く知るこ
とにつながります。

では、叱る場合ばどうしたら良いのでしょうか。ポ
イントは「不快である」というのをいかに伝えるかな
んだと思います。ブヒの場合は、かなり強く伝えないと、
わかってもらえない場合が多いでしょう。叩くとか、
きつく言うとか、手法は何でもOKです。

手法は何でも良いのですが、大切なのは叱るタイミ
ングです。「不快に思ったそのとき、すぐに叱る」こ
とが、かなりキーになってきます。また「いけない」
と言うのと、叩くアクションのタイミングがずれても
伝わりにくくなるので、そこをしっかりと合わせるの
もポイントでしょう。

Q 自力でしつけをしたいと思いますが、なかなか難しい…。トレーナーさんをつけるべきなのでしょうか？

絶対だとは思いませんが、トレーナーをつけたほうが、お悩みが早く、効果的に解消されると思いますよ。

ひとつの問題行動の改善の仕方が、一気にではなく、ゆっくりとというパターンがフレンチブルドッグには多い気がします。ですから、飼い主さんだけでは、少し手こずるかもしれません。実際、そのズビに合わないトレーニング方法をずっと続けていて、なかなか変わらないと悩んでいらっしゃる飼い主さんも多いです。また、問題行動の改善にかなり時間を要するので、途中であきらめてしまう方もいて、もう少し続けていたら変わったのに!ということもあるんですね。

その点、プロのトレーナーは犬の個性を客観的に見て、1頭1頭に合ったトレーニング法を選んでいきますし、飼い主さんのしつけに対するアドバイスも的確にできますので、問題行動の解消への道が見つかるはずですよ。とくに、ズビの場合、性格が個性的なので、より様々なトレーニング方法を知っているトレーナー選びが大切ですね。フレンチブルドッグのトレーニング経験が豊富なトレーナーなら、一層頼れるでしょう。

でも、「トレーナーをつけたから安心」と思っははいけません！ 結局しつけは飼い主さんがやるものなんですよ。時間も労力もかかると思いますが、そこは愛するズビのために頑張ってください！ トレーナーはそのサポートを心をこめてさせていただきます。ですから、迷ったら、どんどん相談してください。



Q 家だとい子なのに、外に出るととにかくやんちゃ。これってどういうことなの？

犬は応用がきかない動物だから、当たり前のことなんです。環境ごとにしつけをしてあげることが大切です。家でできることと同じように、外でも1からしつけをしてあげないとはいけません。でも心配することはありません。すでに家でできていることなら、それができるようになった期間よりもずっと早くにできるようになるはずですよ。

「何が起きても動じない強さと優しさを持った飼い主さんに、犬が守られて暮らすこと」。これが川野さんの考える、犬と飼い主さんとの理想的な関係。せっかくのズビとの幸せな時間です。飼い主さんが犬を守る——。甘やかすのではなく、本当の意味で、共に生きていく上で必要な考え方のなからしめさせねえ。



model by Bau

何が起きても動じない強さと優しさ
フレンチブルドッグのしつけQ&A

Q ドッグランやカフェ、お散歩中でも、他のワンちゃんを見ると異常に興奮して、絡みにいったりして困ります。言うことも聞かなくて…。

興奮状態の犬をコントロールする事は一番難しいことです。犬にとって飼い主さんがいかに影響力のある存在かということが一番重要になってきます。

それは他の犬を見て大騒ぎしてしまう子も、遊ぼうと寄ってきてタックルしてくる子も、ジャンプしながら噛んでくる子にも、同様のことがいえます。全ては、その興奮をおさえることが一番のポイントです。

まず、興奮している犬を鎮める時は、通常「お座り&待て」の指示を出します。しかし、興奮状態のときには飼い主さんの声が耳に入らず、普段出来るはずのお座りと待てができないことが多いです。その原因は、飼い主さんと犬とのコミュニケーション不足にあります。お座りも待ても、「できる」ということと「習慣」になっているということとは違うんです。習慣になっていないと、興奮したときにお座りや待てはできないのです。

それらを習慣にするために、日々10分でもいいから犬に指示を出す練習を行ってください！

ではどうやってコマンドを的確に理解させる練習をするか。犬は「言葉のコマンド」よりも「視覚のコマンド」の方が理解するのが早いという特徴があります。最初はハンドシグナルと言葉のコマンドを同時に出すことで意味を覚えさせていき、段々と時間差でハンドシグナルを抜いていって、最終的に言葉のコマンドを認識させていくという、段階を踏んだ方法がおすすめです。

どんな誘惑があっても、飼い主さんから指示がきたらそれに従うよう習慣づけられたら、興奮する前に心拍数を下げて、抑えることができるでしょう。

犬との関係作り

「しつけ」と「トレーニング」

「しつけ」と「トレーニング」は違うといえます。

しつけとは、人間と一緒に暮らしてゆく上での社会生活のマナーやルールを犬に教え、家庭や公共の場で安全に人と犬が共存し、他人に迷惑をかけないようにすること。

トレーニングとは、もちろん「しつけ」や「ルール」を教える際に、訓練(トレーニング)をするという意味の使われ方もありますが、しつけ以外の部分、たとえばドッグスポーツや競技会、ゲーム大会への参加等のための「トレーニング」という意味でも使われていると思います。

「競技やドッグスポーツなんて興味無いし、しつけだけ出来れば」

「吠えるし、家でも悪戯ばかりだから、それだけ直ればいいわ」

よく聞かれる声ですが、しつけを教えてゆく段階で、「やってはいけないこと」という禁止事項を犬に与えるだけでは必ず何処かに負担がかかります。こっちの蓋を開めればあつちの蓋が開く状態です。

必ず「はけ口」を作つてあげないと、

いつか今度は別のところに問題が出てきます。

そもそも犬達は、人間と一緒に何か作業(仕事)をこなし、一緒に生活してきた歴史があります。飼い主を困らせようと嫌がらせをするほど、複雑な思考回路で悪戯をしているわけでもなく、もちろん悪意なんて全くありません。単純に、退屈だから何か楽しくて熱中する遊び(仕事)がしたいだけなのです。

現在家庭犬として、特に家の中の留守番生活を強いられている彼らは、まさに失業している状態で、自分に与えられた仕事がないためにチヤムに吠えたり、いわゆる困つた行動を、まるで自分に与えられた仕事のようにこなすのです。

特に、吠えや破壊行動等困つた行動を繰り返す犬達は、エネルギー豊富なタイプや意欲の強いタイプが少なくありません。

しかし、「はけ口」を作るといっても、なかなかクリエティブに遊びを考へることが好きではない飼い主さんだと、途端に犬達は退屈になってしまい、自分で遊び(悪戯)を考へてしまいます。

そんな時に、犬と一緒に参加出来るゲームだったり競技だったり、既に

あるゲームを利用して犬と遊ぶ(トレーニング)時間を作ることはとても有効でしょう。

目標があると、「ただ単にしつける」よりは俄然飼い主のモチベーションもあがります。ドッグスポーツ競技やゲーム大会のトレーニングをするだけで、毎日数分でも目的を持って犬に接することが出来ます。犬達にとっても、自分に明確に与えられた仕事がある。職が見つかったのです!

そして、競技や、犬と一緒にゲーム大会等に参加している犬達の中には、他の犬や人に吠える等の行動があり、過去に「しつけ」の部分で悩んでいた飼い主さんも少なくありません。

一般的な、「吠えてはいけない。吠えやんだらイイことあるよ」の理論で教えるというよりも、実は、競技やゲーム大会に向けて飼い主さんと犬が練習していく過程で、他の犬や人に吠えてしまうという行動が直つてゆくことがかなりの確率であるのです。

一体どうしてなのでしょう?

それは、練習の過程で犬が飼い主に集中する習慣がつくこと。そして、飼い主が犬のアテンションをコントロール出来るようになるからなのです。

だから、吠える対象の物が近づい

ても容易に犬のアテンションをひける。吠えたい対象から気をそらさせることが簡単になる。犬も「飼い主と一緒に仕事に集中」出来るから、「他の犬や人に吠えるという仕事」に夢中にならなくても良いのです。

最近ではドッグスポーツも色々な種目が増え、特定犬種しか活躍できないような競技ばかりではなくなりました。走ることにボールが大好きなら、小型犬でも楽しめるフライボール(アメリカではアジリティーに次ぐ人気のドッグスポーツ)。飼い主が犬と一緒に大好きな曲で得意のトリック(芸)や基本的な行動(お座りやヒール、伏せ、待て)を組み合わせて、ダンスにして踊るドッグダンス。犬達の自慢の「臭覚」を使って遊べるゲームなど。犬種問わず参加出来る、犬と一緒に遊べるゲーム大会等が各地で開催されています。

ご家族やご近所の犬友達と、行楽も兼ねてゲーム大会に参加してみるのもお勧めです。

「犬のしつけ」も、ゲームを通して楽しみながら教えた方が気が楽になるし、長く続けられるでしょう。

そうだそうだドレナーのなおごさんに訊いてみよう



川野 倭子

アメリカ、カリフォルニア州にてドッグトレーナーのライセンスを取得。フランス人とアメリカ人訓練士のもとで、車用犬、警察犬の服従訓練や、問題犬の矯正を学ぶ。現在、カワノe-ドッグの専属ドッグトレーナー。

★株式会社カワノe-ドッグ

☎03-3630-6725 Fax 020-4623-6423 <http://www.k-e-dog.com/>

犬の権利が認められるには、飼い主が犬に対して義務を果たす。それが「しつけ」だという「しつけ先進国」フランス流の考え方。カフェでくつろぐ主と足元でゆったりと過ごす愛犬との心地よい距離感。そんな犬文化ごと輸入したドッグ・トレーニング・スクールです。

008

BUHI TRAINING METHOD

